**インターネットに潜む危険**

# インターネットには危険が潜んでいる

インターネットはとても便利ですが、危険が潜んでいることを忘れてはいけません。世の中にお金をだまし取ろうとする人や他人を傷つけようとする人がいるように、インターネットの世界にも同じような悪い人がいるのです。インターネットには便利な面も多いですが、危険な面もあります。どのような危険が潜んでいるかを確認しましょう。

## 個人情報が盗まれる

オンラインショッピングのときに入力するクレジットカード番号などの個人情報が盗まれて、他人に悪用されてしまうことがあります。個人情報はきちんと管理しておかないと、身に覚えのない利用料金を請求されることになりかねません。

## 外部から攻撃される

インターネットで世界中の情報を見ることができるというのは、逆にいえば、世界のだれかが自分のパソコンに侵入する可能性があるということです。しっかりガードしておかないと、パソコンから大切な情報が漏れてしまったり、パソコン内の情報を壊すような攻撃をしかけられたりします。

## ウイルスに感染する

「コンピューターウイルス」とは、パソコンの正常な動作を妨げるプログラムのことで、単に「ウイルス」ともいいます。ウイルスに感染すると、パソコンが起動しなくなったり、動作が遅くなったり、ファイルが壊れたりといった深刻な被害を引き起こすことがあります。

ウイルスの感染経路として次のようなことがあげられます。

1. ホームページを表示する
2. インターネットからダウンロードしたファイルを開く
3. メールに添付されているファイルを開く
4. USBメモリなどのメディアを利用する

※ウイルスについては、4ページの「表 1ウイルスの種類」を参照

## 情報や人にだまされる

インターネット上の情報がすべて真実で善意に満ちたものとは限りません。内容が間違っていることもあるし、見る人をだまそうとしていることもあります。巧みに誘い込まれて、無料だと思い込んで利用したサービスが、実は有料だったということも少なくありません。

また、インターネットを通して新しい知り合いができるかもしれませんが、中には、悪意を持って近づいてくる人もいます。安易に誘いに乗ると、危険な目にあう可能性があります。

* フィッシング詐欺  
  「フィッシング詐欺」とは、パスワードなどの個人情報を搾取する目的で、送信者名を金融機関などの名称で偽装してメールを送信し、メール本文から巧妙に作られたホームページへジャンプするように誘導する詐欺です。誘導したホームページに暗証番号やクレジットカード番号を入力させて、それを不正に利用します。
* ワンクリック詐欺  
  「ワンクリック詐欺」とは、クリックしただけなのに、表示されるホームページで利用料金を請求するような詐欺のことです。ホームページに問い合わせ先やキャンセル時の連絡先などが表示されていることもありますが、絶対に自分から連絡をしてはいけません。

# 危険から身を守るには

インターネットには危険がいっぱい、インターネットを使うのをやめよう！なんて考えていませんか？どうしたら危険を避けることができるのでしょうか。信用できない人とやり取りしない、被害にあったら警察に連絡するなどの安全対策が何より大切です。

## パスワードは厳重に管理する

インターネット上のサービスを利用するときは、ユーザー名とパスワードで利用するユーザーが特定されます。その情報が他人に知られると、他人が無断でインターネットに接続したり、サービスを利用したりする危険があります。パスワードを尋ねるような問い合わせに応じたり、人目にふれるところにパスワードを書いたメモを置いたりすることはやめましょう。また、パスワードには、氏名、生年月日、電話番号など簡単に推測されるものを使ってはいけません。

## 他人のパソコンで個人情報を入力しない

インターネットカフェなど不特定多数の人が利用するパソコンに、個人情報を入力することはやめましょう。入力したユーザー名やパスワードがパソコンに残ってしまったり、それらを保存するようなしかけがされていたりする可能性があります。

## 個人情報をむやみに入力しない

懸賞応募や占い判定など楽しい企画をしているホームページで、個人情報を入力する場合は、信頼できるホームページであるかを見極めてからにしましょう。

## SSL対応を確認して個人情報を入力する

個人情報やクレジットカード番号など重要な情報を入力する場合、「SSL」に対応したホームページであることを確認します。SSLとは、ホームページに書き込む情報が漏れないように暗号化するしくみです。SSLに対応したホームページは、アドレスが「https://」で始まり、アドレスバーに鍵のアイコンが表示されます。

## 怪しいファイルは開かない

知らない人から届いたメールや怪しいホームページからダウンロードしたファイルは、絶対に開いてはいけません。ファイルを開くと、ウイルスに感染してしまうことがあります。

## ホームページの内容をよく読む

ホームページの内容をよく読まずに次々とクリックしていると、料金を請求される可能性があります。有料の表示をわざと見えにくくして利用者に気付かせないようにしているものもあります。このような場合、見る側の不注意とみなされ高額な料金を支払うことになる場合もあります。ホームページの内容はよく読み、むやみにクリックすることはやめましょう。

## 電源を切断する

インターネットに接続している時間が長くなると、外部から侵入される可能性が高くなります。パソコンを利用しないときは電源を切断するように心がけましょう。

# 加害者にならないために

インターネットを利用していて、最も怖いことは自分が加害者になってしまうことです。加害者にならないために、正しい知識を学びましょう。

## ウイルス対策をする

ウイルスに感染しているファイルをメールに添付して送ったり、ホームページに公開したりしてはいけません。知らなかったではすまされないので、ファイルをウイルスチェックするなどウイルス対策には万全を期しましょう。

## 個人情報を漏らさない

SNSやブログなどに他人の個人情報を書き込んではいけません。仲間うちの人しか見ていないから大丈夫！といった油断は禁物です。ホームページの内容は多くの人が見ていることを忘れてはいけません。

## 著作権に注意する

文章、写真、イラスト、音楽などのデータにはすべて「著作権」があります。自分で作成したホームページに、他人のホームページのデータを無断で転用したり、新聞や雑誌などの記事や写真を無断で転載したりすると、著作権の侵害になることがあります。

## 肖像権に注意する

自分で撮影した写真でも、その写真に写っている人に無断でホームページに掲載すると、「肖像権」の侵害になることがあります。写真を掲載する場合は、家族や親しい友人でも一言声をかけるようにしましょう。

【参考】様々なウイルス

ウイルスには、次のような種類があります。

表 ウイルスの種類

|  |  |
| --- | --- |
| 種類 | 症状 |
| ファイル感染型ウイルス | 実行型ファイルに感染して制御を奪い、感染・増殖するウイルス。 |
| トロイの木馬型ウイルス | 無害を装って利用者にインストールさせ、利用者が実行するとデータを盗んだり、削除したりするウイルス。感染・増殖はしないので、厳密にはウイルスとは区別されている。 |
| ワーム型ウイルス | ネットワークを通じてほかのコンピューターに伝染するウイルス。ほかのプログラムには寄生せずに増殖する。 |
| ボット型ウイルス | コンピューターを悪用することを目的に作られたウイルス。感染すると外部からコンピューターを勝手に操られてしまう。 |
| マクロウイルス | ワープロソフトや表計算ソフトなどに搭載されているマクロ機能を悪用したウイルス。 |
| スパイウェア | コンピューターの利用者に知られないように内部に潜伏し、ネットワークを通じてデータを外部に送信する。厳密にはウイルスとは区別され、マルウェア[[1]](#footnote-1)のひとつとされている。 |

1. 悪意のあるソフトウェアの総称。ウイルスもマルウェアに含まれる。 [↑](#footnote-ref-1)